

エアラインの戦略と神戸空港への期待 AIR DO



2013年 10月

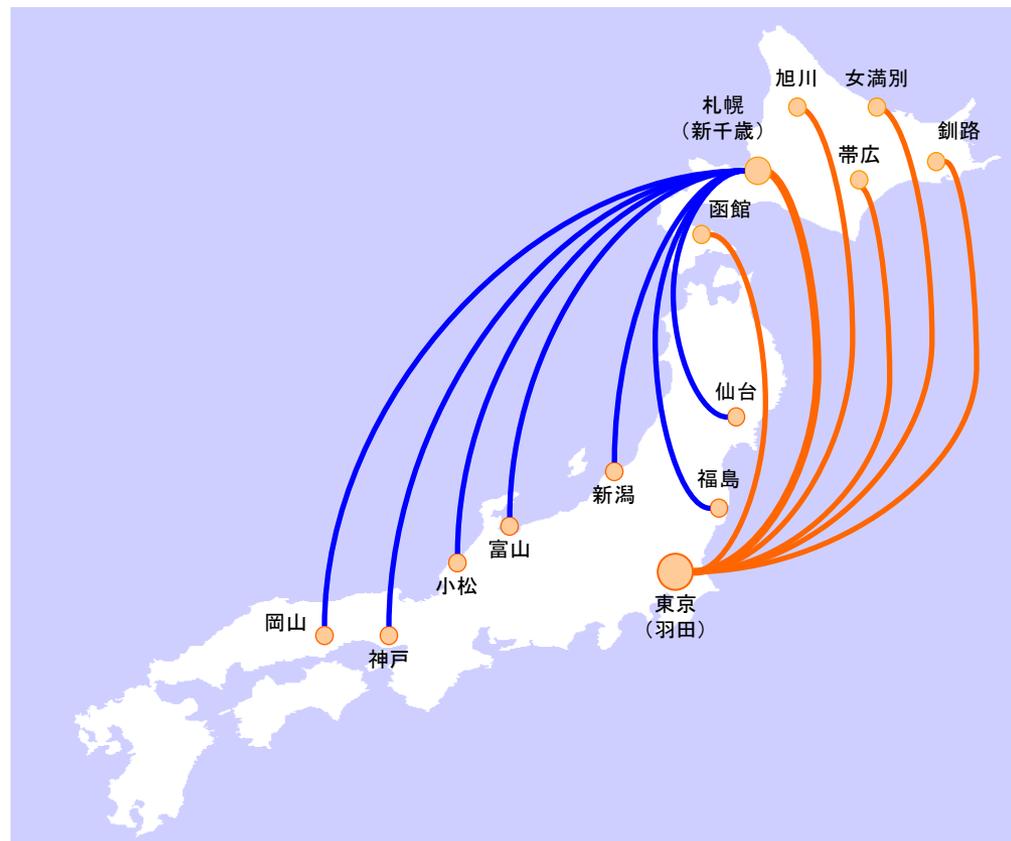
株式会社 AIRDO

「北海道の翼」としての取り組み

AIR DO

■ 航空ネットワークの拡充

- 東京＝札幌 × 1 1 (1998年12月～)
- ＝旭川 × 3 (2003年07月～)
- ＝函館 × 2 (2005年03月～)
- ＝女満別 × 2 (2006年02月～)
- ＝帯広 × 3 (2011年03月～)
- ＝釧路 × 2 (2013年03月～)
- 札幌＝仙台 × 5 (2008年11月～)
- ＝新潟 × 2 (2009年04月～)
- ＝福島 × 2 (2009年11月～)
- ＝富山 × 1 (2009年11月～)
- ＝小松 × 1 (2009年11月～)
- ＝岡山 × 1 (2013年03月～)
- ＝神戸 × 2 (2013年06月～)



✈ 13路線 37往復便／日で北海道と各地を結ぶ

「北海道の翼」として目指すもの

AIR DO

■ 安全を絶対的使命として追求

- 創業以来の高いレベルの安全性をさらに向上させるため、「安全マネジメントシステム」を基礎とした、確固たる安全基盤を構築する。

- 創業以来、重大インシデントや事故は皆無
- 2005年12月01日、「安全マネジメントシステム」を新規航空会社として最も早く導入

■ 低価格運賃の提供

- 低コスト運航体制の確立を図りつつ、大手航空会社よりも低価格で利便性の高い運賃を安定的・継続的に提供する。

- 普通運賃は、大手航空会社より大幅に安く設定
- 割引運賃についても、大手航空会社より低価格で利便性の高い運賃を設定

■ 個性的で質の高いサービス

- フリードリンクやオーディオサービス、機内誌、北海道図書館など、北海道にこだわった個性的で質の高い機内サービスを提供する。
- 自動チェックイン機の利用、欠航時の対応等を含め利便性の高いサービスを提供する。

- フリードリンク … 北海道産玉ねぎを使ったオニオンスープなど
- オーディオサービス … 北海道にちなんだオリジナルプログラムなど
- 北海道図書館 … 北海道をはじめとする就航地に関する本を機内で貸し出し

■ 「北海道の翼」としての使命

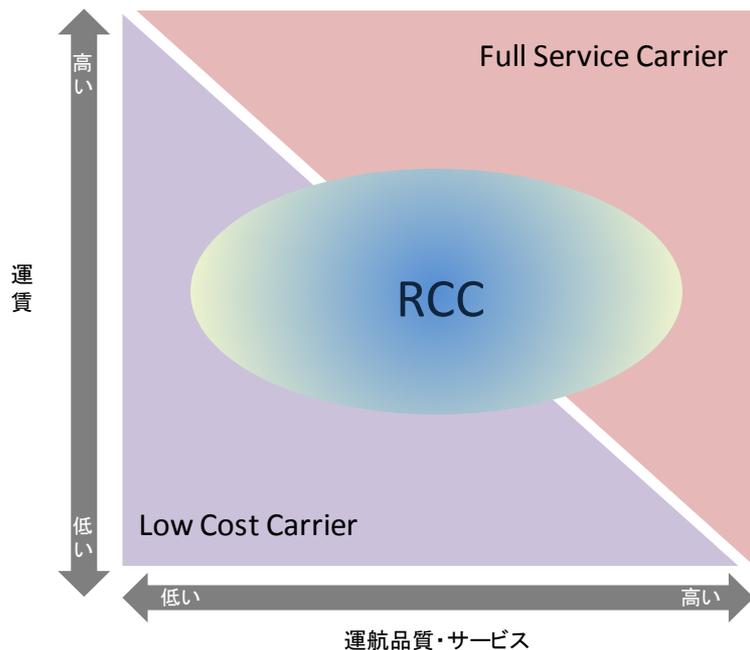
- 北海道に根ざした航空会社として、北海道と各都市を結ぶ航空ネットワークを整備・拡充する。
- 「北海道の広告塔」として、情報発信基地の役割を果たすなど、地域経済の発展に貢献する。

- ホームページや機内誌「ラポラ」にて北海道の情報を発信
- 北海道産スイーツ、牛乳など北海道産品の消費拡大、PRに貢献
- 地域と一体となった広告宣伝活動を展開
- 2011年11月28日、「北海道との連携と協力に関する協定」を締結

「北海道の翼」として目指すもの

AIR DO

■ 事業モデルはRCC



弊社はフルサービスキャリアとローコストキャリアの中間に位置し、「個性的で質の高い航空サービス」を「リーズナブルな運賃」にて提供する「Reasonable Cost Carrier」として、また、「北海道という地域に特化した航空会社」である「Regional Common Carrier」として、RCCモデルを追求してまいります。

各社のユニットコスト

出所:週刊ダイヤモンド 8月24日号

			
AIRDO	スカイネットアジア 航空	スターフライヤー	スカイマーク
11.78円	8.95円	12.14円	8.10円

AIRDOと神戸空港

AIR DO

関西3空港とつなぐ就航地

月間で運休が発生する便は除外しています

神戸空港	
就航空港	便数
東京国際空港	8
新千歳空港	4
鹿児島空港	2
長崎空港	4
那覇空港	6
石垣空港	1
茨城空港	2

関西国際空港			
就航空港	便数	就航空港	便数
東京国際空港	11	仙台空港	3
成田国際空港	2	福岡空港	6
新千歳空港	13	長崎空港	1
女満別空港	1	鹿児島空港	3
旭川空港	1	那覇空港	13
函館空港	2	石垣空港	3

大阪国際空港					
就航空港	便数	就航空港	便数	就航空港	便数
東京国際空港	30	仙台空港	18	大分空港	7
成田国際空港	4	新潟空港	10	熊本空港	9
新千歳空港	4	福島空港	5	長崎空港	6
函館空港	1	但馬空港	2	宮崎空港	12
青森空港	3	隠岐空港	1	鹿児島空港	13
三沢空港	1	出雲空港	6	屋久島空港	1
秋田空港	5	松山空港	12	奄美大島空港	1
花巻空港	4	高知空港	6	那覇空港	4
山形空港	3	福岡空港	16		

